

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 共通問題（国語教育基礎）

問題1 次の文章は、Ken Hyland, *Teaching and Researching Writing* (2022) の一節である。ここでは「電子技術が書くことに与える影響 (Effects of Electronic Technologies on Writing)」が箇条書きで項目立てて説明されている。読んで日本語に訳しなさい。(20点)

著作権保護の観点から、公表していません

(出典：Ken Hyland, *Teaching and Researching Writing*. New York: Routledge, 2022.)

【出題意図】

国語教育分野の研究を行うために必要な基礎的な資質を備えていることをはかる。具体的には、言語教育に関する英文を読んで内容を的確に把握することのできる読解力と、国語教育に対する自らの考えを論理的・説得的にまとめることのできる思考力・表現力を問う。

問題1

【解答例】

解答例は公表しない

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 共通問題（国語教育基礎）

問題2 問題1の文章中に示されている「電子技術が書くことに与える影響」を考慮するならば、これからの国語科における書くことの指導では、どのようなことを行うことが有効であると考えるか。文章中の項目の内容を一つ以上取り上げ、指導にあたっての具体的な手立て・方法について自分の考えをまとめて述べなさい。(60点)

問題2

【解答例】

解答例は公表しない

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題1 (国語科教育)

問題1 次の①～⑤より三つを選択し、国語教育の観点から解説しなさい。選択した番号を〔 〕中に記してから答えなさい。(45点)

- ① 演劇 ② 文集 ③ クリティカル・リーディング
④ 言語環境 ⑤ 国際バカロレア

問題2 令和3年1月に中央教育審議会によって出された『教育課程部会における審議のまとめ』では、今後の教育課程の在り方については、学習指導要領において示された資質・能力の育成を着実に進めることが重要であり、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と、子供たちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的な充実が図られることが求められている。これを踏まえ、国語科教育において「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることの意義についてあなたの考えを述べなさい。また、その考えに基づいて具体的な単元を構想し、その概要を示しなさい。ただし、学校種、学年、時間数などは自由に設定してよい。単元展開の形は、一時期にまとめて行う形でもよいし、少しずつ長期間にわたって継続する形でもよい。(75点)

【出題意図】

国語教育分野の研究を行うために必要な専門的な資質を備えていることをはかる。具体的には、国語教育に関する基礎知識に対する理解力と、国語教育における問題状況を踏まえつつ、自らの考えを具体的・説得的にまとめることのできる思考力・表現力を問う。

問題1

【解答例】

解答例は公表しない

問題2

【解答例】

解答例は公表しない

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題2 (国語学)

問題1 次の文章[1][2]のそれぞれについて、日本語学の用語を用いて内容を解説しなさい。(80点)

問題2 現行の国語科学習指導要領に示されている「[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項」の学習のために[1][2]のいずれかを教材化するとしたら、どちらの文章がより適しているか。教材案を示し、自分の考えを述べなさい。なお、学校種や学年などは自由に設定してよい。また、文章の一部を取り上げる形でもよい。(40点)

[1]

著作権保護の観点から、公表していません

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題2 (国語学)

[2]

著作権保護の観点から、公表していません

(穂村弘『はじめての短歌』による)

【出題意図】

国語学（日本語学）の基礎知識に関する理解力と、文章を国語学的な観点から分析し、自らの考えを論理的・説得的にまとめることのできる思考力・表現力を問う。

問題1

【解答例】

解答例は公表しない

問題2

【解答例】

解答例は公表しない

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題3 (国文学)

問題一 合同詩集『抒情詩』に所収されている【A】と【B】を読み、後の設問に答えなさい。(六〇点)

設問一 次の①～⑥を漢字で埋めなさい。

当時、『国民之友』や『国民新聞』を発刊していた①から、宮崎湖処子の編輯で明治三〇年四月に刊行された合同詩集に『抒情詩』がある。後に、『遠野物語』を上梓した②や『蒲団』により自然主義の代表的な作家となった③なども参加した。【A】と【B】を記した④は、ワーズワースやツルゲ―ネフの諸作に影響を受けて、自然の美しさを写実的に描いた『⑤』を著した。

設問二 【A】は【B】の詩篇が収められた章に掲げられた「序」の一部である。傍線部「今や予は必ずしも欧詩を羨まず」ということばは、日本の新体詩がどのような点に到達したことを示しているか。へ 抒情詩 叙事詩 新体詩 へのキーワードを全て用いながら具体的に説明しなさい。

設問三 【B】の詩篇「山林に自由存す」の傍線部「山林の児」が意味するものについて、【A】の内容を参考にしつつ、詩篇の表現を用いて説明しなさい。

【A】

著作権保護の観点から、公表していません

【B】

著作権保護の観点から、公表していません

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題3 (国文学)

【出題意図】

国文学(近現代・古典)の基礎知識に関する理解力、文章を読み、国文学の観点から内容を的確に読解し、自らの考えを論理的・説得的にまとめることのできる思考力・表現力を問う。

問題一

○設問一

【解答】

①民友社

②柳田國男

③田山花袋

④国木田独歩

⑤武蔵野(今の武蔵野)

○設問二

【解答例】

西洋の詩の翻訳を行い、それらに倣うことから始まった初期の新体詩は、叙事詩が中心であったが、北村透谷以降、島崎藤村らにより人間の内面を表現した抒情詩が試みられるようになる。それにより、小説に続き、新体詩も近代的な内面を表現するツールとして確立された段階に到達したことを示している。

○設問三

【解答例】

解答例は公表しない

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題3 (国文学)

問題二 AとBを読んで、後の設問に答えなさい。(六〇点)

A うれしきもの。まだ見ぬ物語の一を見て、いみじうゆかしとのみ思ふが、のこり見出でたる。さて、心おとりするやうもありかし。

B あづま路の道のはてよりも、なほ奥つ方に生ひ出でたる人、いかばかりかはあやしかりけむを、いかに思ひはじめけることにか、世の中に物語といふものあんなるを、いかで見ばやと思ひつつ、つれづれなるひるま、宵居などに、姉、継母などやうの人々の、その物語、かの物語、光源氏のあるやうなど、ところどころ語るを聞くに、いとどゆかしさまされど、わが思ふままに、そらにいかでおぼえ語らむ。

【注】〇一を見て〓一巻目を読んで。〇あづま路の道のはて〓常陸国のこと。

〇宵居〓夕方の団らんのひとつとき。

設問一 Aは『枕草子』一節である。どのようなことを述べているのか、わかりやすく説明しなさい。

設問二 次の文章はBについて解説したものである。空欄①～④にあてはまる語句を漢字で記しなさい。

Bは平安時代の(①)文学の一つである(②)の冒頭部分である。筆者である(③)は、父が国司として赴任していた(④)国で少女時代を過ごしたが、周囲の女性たちから物語の話聞いて憧れを抱いていた。

設問三 AとBから、平安時代に生きた貴族女性たちの物語享受の様相について読み取れることを、わかりやすく記しなさい。

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題 3 (国文学)

問題二

○設問一

【解答例】
まだ読んだことのない物語の一卷目を読んで、続きを読みたいと思いつめていたときに、残りの巻を見つけるのは、とても嬉しいものだ。ところが、読んでみると期待はずれである場合もあるものだ。

○設問二

【解答】

①日記

②更級日記

③菅原孝標女

④上総

○設問三

【解答例】

解答例は公表しない

学校教育学専攻 言語・社会系 国語教育問題群

選択科目 専門領域問題4 (書写書道)

問題1 漢字テストで、中学校第1学年の生徒が「特」という漢字の三画目の終筆をはねて書いていた場合、採点にあたり、○と×のどちらを付けるか答えなさい。また、そのように採点した理由を、「字体」「字形」の用語を用いて説明しなさい。(50点)

問題2 「点画の方向を理解して書こう」という学習目標で、小学校第2学年の書写の授業を構想し、1単位時間(45分)の学習指導過程を記しなさい。(70点)

【出題意図】

書写書道教育分野の研究を推進できる基礎力を問う。具体的には、文字文化に関する知識と理解、及び、書写書道教育の理論と実践への知識と理解をはかる。

問題1

【解答例】

「特」という漢字の三画目の終筆をはねて書いても、採点は○である。字体は文字の骨組みであるため、実際に書かれて具体的な字形となってあらわれたときには、その形は一定ではない。字体は同じでも、書く人の数と同じだけ字形が存在する。縦画の終筆をとめるかはねるかは、字形上の問題である。字体が正しければ採点上○となる。

問題2

【解答例】

解答例は公表しない